



いいもの成らせるさくらんぼ便り

Vol. 5 気象に応じた着色管理でロスなく高品質生産！

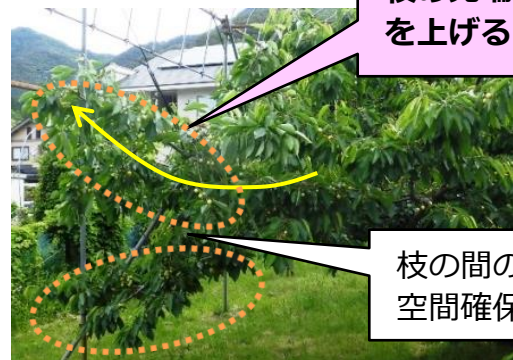
- ◆ 6月は今年も高温予報となっている。
- ◆ **葉の摘み過ぎは厳禁！** 樹勢や着果部位に応じた着色管理を実施し、高温障害によるロスを少なくしよう！
- ◆ **灰星病が多くの園地でみられるため、登録のある薬剤を定期的に散布する！**

1 着色管理

(1) 枝吊り・誘引は、新梢管理・葉摘み前に実施

- ◆ 枝吊り・誘引を行い、**枝と枝の間隔をあけ、果実に光が当たりやすいようにする**

- 下垂した枝は、先端が上を向くように吊り上げる
- 誘引で枝の向きを変え空間を確保する



枝の先端
を上げる

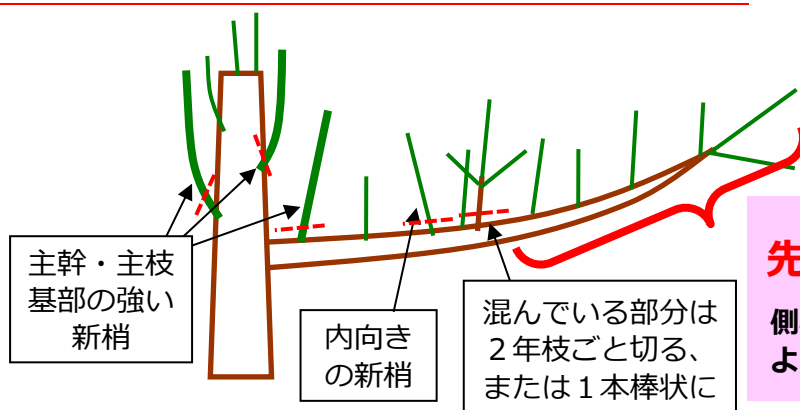
枝の間の
空間確保

(2) 新梢管理は**メリハリ**をつけて

- ◆ 薬剤を到達しやすくするため、樹冠内部は混んでいる部分を中心に新梢を切る
- ◆ 高温対策のため、**樹上部や樹冠外周部は基本的に新梢を切らない**

- 主幹周り、主枝基部の混み合った新梢を切り取る
- 日焼け防止のため、主枝背面の新梢はコンパクトに残す
- 切り過ぎに注意（高温障害の発生を助長するため先端部は切らない）

※注意：樹勢が弱い樹では、新梢は切らない



主幹・主枝
基部の強い
新梢

内向きの
新梢

混んでいる部分は
2年枝ごと切る、
または1本棒状に

先端部は切らない
側枝の基部 1/3～1/2
より先は切らない

(3) 反射シート設置は**早めに設置**

◆ 6月は高温予報のため、例年よりも早めに設置し、**早めに除去する**

- 着色始期頃（収穫2～3週間前頃）から設置
- 果実温が高まりにくい**白色シート**がオススメ
- 高温が続く場合は**速やかに除去**



↑ 白色シート設置

(4) 葉摘みは**最小限に！**

◆ 高温対策のため、樹勢や部位に応じてメリハリをつける

→ 弱樹勢、樹の外周部や樹上部：**葉摘みしない**

→ 樹の内部や樹下部：**マメ葉を中心に最小限の葉摘み**

- 短果枝当たり大きい葉を**4枚以上残す！** 摘み過ぎは高温障害を助長！



<葉摘み前>



<葉摘み後>

【摘み取る葉】

- ・果実に覆いかぶさっている葉
- ・葉柄が短く小さい葉（マメ葉）
- ・果実の間に挟まっている葉

(5) 修正摘果 ～「紅秀峰」は要確認～

- 着果過多の樹や部位は**急いで修正摘果**を！
- 双子果や小さい果実を優先して摘果
- 果実同士が接触しているものを摘果
- ※摘果した果実は、**病害虫の発生源**。放置しない！



果実同士の接触による着色ムラ

2 防除 ～**遅れない・間隔があかない**ように注意！～

要注意 灰星病の重点防除時期：収穫前・使用回数を確認して、定期的に防除

○果樹カメムシ類対策

- ・成虫の寄生や卵塊、被害果を確認したら、**速やかに捕殺し、薬剤散布**

○ショジョウバエ類対策

- ・高温時には急増する場合があるため定期的に防除

3 かん水(着色期～収穫期)

- 乾燥時は**3～4日おきに少量**かん水（1～2t/10a、1樹100L程度）

さくらんぼ作業中の事故が多発！！

注意！

- 脚立は**チェーン**を掛ける！天板には立たない！
- 危険な作業は**二人以上**で、携帯電話を忘れない！
- 暑さが続くので、**熱中症に注意！**